7. メールサーバーとしてのMacintosh IIci活用法

環境工学技術系　高橋　百寿

はじめに　近年研究室では、自前のコンピュータを研究室に持ち込んで作業する学生が多くなり、備品として購入したコンピュータは、新しい数台を残して徐々に活躍の場が少なくなりました。平成２年度にＣＡＤ教育用に購入した Macintosh II ci もその１つで、研究室では昨年新機種の導入によってＣＡＤ教育には使われなくなったこのコンピュータを使って、研究室の学生を対象にした E-MAIL アドレスを発行するために、メールサーバーを立ち上げました。以下にその作業手順を示します。

作業手順

１．学科のネットワーク管理者にメールサーバーの開設を申し出る。

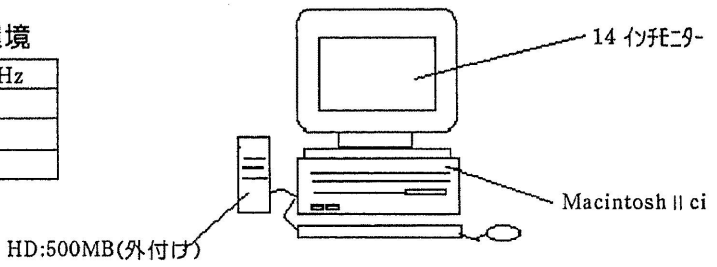
使用機種により、サーバーとして認識されない設定となることがあるため、端局設定の確認をしてもらう。またより詳しい情報や、サービスを提供してもらうためにもネットワーク管理者への連絡は必要と思われる。

２．利用機種：Macintosh II ci の環境について確認

mail server を設置するにあたり、現状を把握。以下の環境を確認した。

表－１ Macintosh II ci の環境

CPU	MC68030 25MHz
ﾒﾓﾘ	20MB
system	漢字 talk7.5
TCP	MacTCP2.0.4



図－１ Macintosh II ci の周辺機器

３．ソフトの選定と立ち上げ

Macintosh で mail server を立ち上げるためのフリーソフトを探し、Apple Internet Mail Server 1.0(ＡＭＩＳ)／Apple 社をダウンロードした。

（現在は Eudora Internet Mail Server 1.0(ＥＭＩＳ)／Eudora のＨＰからダウンロード可だが、新しいバージョンは有料。）

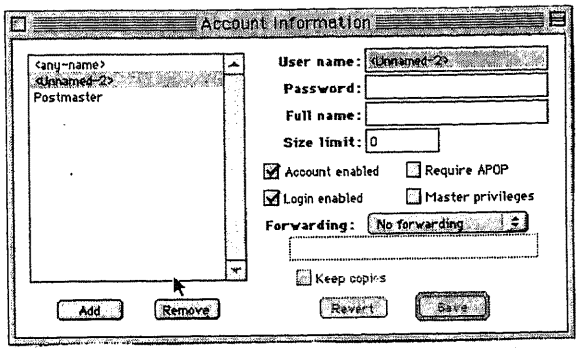
表－２ＡＭＩＳの主な機能

- Simple Mail Transfer Protocol(SMTP)対応
- Post Office Protocol(POP)対応
- パスワードサーバー付き(ユーザーからの変更可能)

４．ユーザー登録

研究室の学生に対しては、必要に応じて随時登録を原則としている。登録は ***server*** から ***Account Information*** を選択し以下の３項目を入力する。

Username(アドレスの最初の部分)／***Password***／***Full name***(本人を特定出来る名)



図－２メールアカウントの設定ウインド

５．メールソフトの設定

個々のコンピュータでメールソフトの設定を行うために、必要な事項として下記の一覧を学生に渡し、設定を入力または変更してもらう。

表－３メール設定に必要な入力事項の一覧

1.ネットワークの設定	ＩＰアドレス	***.**.***.**
	（ホスト名）	ｔｋ****
	サブネットマスク	***.***.***.*
	ゲートウエイ	***.**.***.***
	ドメイン	eng.niigata-u.ac.jp
	ＤＮＳサーバ	****eng.niigata-u.ac.jp
2.メールソフトの設定	メールアドレス	$$$$@tk312kei. eng.niigata-u.ac.jp
	アカウント	$$$$
	ログイン名	$$$$
	パスワード	*****
	ＰＯＰサーバー	tk312kei. eng.niigata-u.ac.jp
	ＳＭＴＰサーバー	tk312kei. eng.niigata-u.ac.jp

利用状況　以上の作業で研究室の学生がメールでコミュニケーションすることは可能となりました。昨年度の６月ころから登録を受け付け、研究室の大学院生と学部生を合わせて現在２５名を登録（ＡＭＩＳは、ユーザー数 100～200 名を目途としている）しています。学生の中には専用のコンピュータを持たず、メールソフトをフロッピーで持ち歩き共用のコンピュータを利用してアクセスする人もいますが、それぞれに学内・学外を問わず有意義に利用している様子です。

おわりに　現状として、ＬＡＮ回線に接続されていたが利用のないコンピュータがあり、なおかつそのコンピュータで利用可能なフリーソフトでサーバーが構築できる状況で、ＩＰアドレスの制限が緩和されて学生が個々のコンピュータを研究室に持ち込みインターネットに接続し始め e-mail アドレスへの要求が増加した時点で学校側からの発行が待ちきれずに試験的に上記のような mail server の構築を行いました。建設学科としては、今年の９月以降に希望する学生全員に e-mail アドレスの発行を開始したため、実際には今回構築した mail server は登録中の学生が在学する期間で終了することになります。しかし、ユーザーの登録や削除、メーリングリストの設定が容易で、ニーズに合わせて瞬時に対応できることから、今回のような状況では有効な方法と考えられます。

・参考文献／Macintosh ｲﾝﾀｰﾈｯﾄｻｰﾊﾞｰ構築術 Cyber Barbarians 編 オーム社刊